

雪の贈り物！？

大雪で倒れたサクラが満開を迎えました！

本日、保育室南阿佐ヶ谷（成田東5-41-7）にあるサクラが見ごろを迎えました。このサクラはもともと、1月22日の大雪で倒れてしまったサクラの木の一部です。サクラが撤去される場面を見かけた職員が折れた枝を持ち帰り、水を与えたところ、見事に花が咲き誇り、例年よりちょっと早めの満開を迎えました。

1月22日から23日かけて都内を襲った大雪。区内でもさまざまな影響がありました。善福寺川緑地のとあるサクラもその影響を受けたひとつで、大雪によって満開の季節を迎えることなく倒れてしまいました。

雪も解け、普段の街なみに戻った2月初めころ、保育室南阿佐ヶ谷の職員が園児との散歩中に、折れたサクラが撤去されるところに出くわしました。咲くことなく倒れてしまったサクラの枝を持ち帰りたいと申し出ると、現場にいた作業者は「水につけておくだけで、ちゃんと花が咲くよ」と枝を渡してくれました。

持ち帰った枝は、ごつごつとしたつぼみのようなものが付いているだけで、職員は本当に花が咲くのか半信半疑でしたが、水を与えて大切に見守ってきました。

それから2週間ほどたった、今週19日頃、暖かい室内に置いているせいか、街の桜よりも早く花が咲き始め、本日とうとう満開の見ごろを迎えました。

園児や保護者たちも、一足はやい春の訪れを楽しんでいました。



職員のひとりには、「雪のせいで折れてしまったことは残念だけど、こうして花を咲かせてくれたところを見ると、まるで雪の贈り物みたいね」と話していました。

この折れたサクラの枝は、近隣の方々も持ち帰ったそうです。今ごろ、1本のサクラの木から散っていった雪の贈り物たちが、ちょっと早めの春を知らせてくれているかもしれません。



【問い合わせ先】

総務部広報課：03-3312-2111（代表）